

各位

新経営研究会
代表 松尾 隆

激変する時代環境の中、
独自の道を切り開くべく挑まれた“挑戦”、その中核となったご本人と“現場”に触れる

2026年度 後期「異業種・独自企業研究会」のご案内

—急速に進むAI化と科学技術本流の画期的変化、国際環境の激変、求められるイノベーションとわが国独自の企業価値の追求—

拝啓 盛夏の砌、皆様におかれましては愈々ご清祥のこと、お慶び申し上げます。

さて本会は、①「激変する時代環境の下、独自の道を切り開いて来た革新的企業のヴィジョン、挑戦の歴史に産業・分野横断的に触れさせていただき」、②「そのイノベーションの中核となったご本人とその革新の現場に直かに触れさせていただいて」、③「イノベーション」とは何か、「独自性」、「時代への適応」、「伝統と革新」ということの本質に迫らせていただいて、「わが国ならではの企業価値の創造」と「今後歩むべき方向」を考えていこうと、去る1982年、弊会が発足と共にスタートさせた弊会の主軸事業で、お陰様で今年、発足満44周年を迎えさせていただくことが出来ました。

これもひとえに皆様の厚いご支援の賜物で、改めて衷心より厚く御礼申し上げる次第です。

さて、時代はデジタル化と生成AI、画期的科学技術の進展の中で、今、如何にして日本の強み、日本独自の美意識と価値観を発揚させ、国際競争力と国際貢献力を合わせ持つ、日本独自の“技術・製品開発”と“ものづくり”、“独自の企業価値”を創出をしていけるか、問われています。

この「異業種・独自企業研究会」は、上記問題意識の下、毎回、今日世界を牽引する独創的企業の経営者、画期的イノベーションへの挑戦に取り組まれたご本人をお囲みし、この方々が持たれた問題意識とヴィジョン、今日に至る夢と苦闘の道程をご披瀝いただき、合わせてその挑戦の現場に直に触れさせていただいて、イノベーションの“原点”に感動的に触れさせていただく機会を併せ持つ、今後日本の在り方を求め合っていくことを目的としている“同志会”です。

この未曾有の時代環境激変の今日、私たちは産業と分野、企業の壁を取り払い、今日各々の問題意識とビジョン、挑戦的試みを交流し合う、「感動的出会い」、「本質に触れる機会」を開きたい。

その感動的出会いが既成の通念を打ち破って新しい多様な世界に目を開かせ、明日の指針と希望を開き、人間形成への掛け替えのない機会となる、と確信する次第です。

是非とも貴台、また御社からのご参加を賜りたく、幾重にもお願い申し上げます。

敬具